

# 大森山動物園と 教育機関との連携



国際教養大学 留学生と園長

大森山動物園には、動物との出会いやふれあいを通して、レクリエーションの場を提供するという役割のほかに、自然および命の大切さを学ぶ、教育の場としての重要な役割があります。

大森山動物園が主体となって行う、ふれあい教室や職場体験などの学校向けイベントのほかに、小学校から大学までさまざまな教育機関とお互いに連携し合いながら行っている取り組みがいくつもあります。

今回は、その中から長期間継続して実施されているものや、最近始まった取り組みなどいくつかをご紹介します。

企画広報担当主席主査 吉田 淳一

## 1 長期にわたる連携

### 浜田小学校との「スタックス共同栽培」

浜田小学校と共同で行っているスタックス(飼料作物)の栽培は、1999年から始まり、昨年で18回目の開催となった長期にわたる連携の取り組みです。

この活動は、草食動物などの糞から作った「ゾウさん堆肥」を使ってスタックスを栽培し、収穫物をゾウなどに食べてもらうことで自然循環型の作物栽培と動物の飼育を児童に体験してもらうことを目的としています。

児童にとって一番の楽しみは、収穫したスタックスを直接ゾウに給餌できることだと思いますが、その前提として、実際に畑に出て堆肥の散布や種まきを行い、1m以上に成長したスタックスを鎌で収穫し、一輪車で園内に運搬するという作業をみんなで協力して行うことが必要のため、自分の体験を通じて自然循環のサイクルを学習できる取り組みです。



スタックスの運搬



ゾウへのエサやり体験

## 2 新たな連携の在り方

### ①秋田公立美術大学との「大森山Arts&Zoo」

2015年度から始まり、昨年9月に2回目の開催となった「大森山Arts&Zoo」(以下、アーツ&ズー)は、動物園内をギャラリーに見立て、秋田公立美術大学(以下、美大)の学生が制作したアート作品を園内に展示するアートイベントです。

美大との連携は、その前身である秋田公立美術工芸短期大学の時代から始まっており、アーツ&ズーはそれをさらに発展させる形で開催しています。

作品の制作は美大生が中心となって行いますが、壁画の制作は、1回目と同様に美大附属高等学院の生徒と美大生が共同で行ったほか、同学院や栗田支援学校の作品も展示するなど連携の輪を広げています。

また、今回は、来園者参加型イベントとして、8月の「夜の動物園」で絵灯笼や提灯を制作するワークショップを行ったほか、来園者が自由に絵を描ける「こくばん帳」の制作やイベント期間中には「わわわ〜つながる友だち」などを開催し、1回目とは異なる新たな試みを行いました。

アーツ&ズーは、今年3回目の開催を予定しています。美大と大森山動物園がアイデアを出し合い、さらに発展したものとして開催できるようにしたいと思います。



壁画制作の様子



イベント「わわわ〜つながる友だち」

### ②国際教養大学によるモニターツアー

外国からの観光客の増加といったインバウンドの流れに対応するため、昨年11月に国際教養大学(以下、AIU)の留学生6人を招いて園内を見学してもらい、意見や感想などを聞くディスカッションを行いました。アメリカやリトアニアなどから来た留学生からは、「大森山動物園は動物との距離が近く、自然と動物、人間が調和しているようだ」という感想が聞かれました。また、AIUと動物園とのアクセスが不便なことから直通バスを運行してはどうかといった意見や、外国人観光客に対応するためAIU生によるボランティアや園内ガイドができないか、などの提案がありました。

今後も、同大との連携を深め、園内サインの充実など動物園のインバウンド対応の参考としたいと思います。



園内見学



AIU生とのディスカッション

## 3 さまざまな連携の形

地元の学校との連携では、栗田支援学校が、長年にわたり生徒による園内の花壇整備を行っているほか、ここで紹介した「スタックス共同栽培」や「大森山Arts&Zoo」にも参加して

います。

日新小学校は全校児童が徒歩で来園し、各学年ごとに学習テーマを決めてオリエンテーリングやクイズを行う「わくわくフェスタ」を開催し、通常の遠足とは異なる「学習の場」として動物園を活用し、園の職員もフェスタの開催に協力しました。

また、秋田市外の学校では、大館市立南小学校の児童が地域と協力して栽培したさつまいもを福祉施設や動物園などに寄贈する「さつまいも夢プロジェクト」を通して動物園と交流しています。(11ページ参照)

その他、市の教育機関である自然科学学習館との共催で、大森山公園や動物園の自然に親しむ「自然観察会」や、さまざまなテーマで子どもの科学的好奇心を刺激する「どうぶつサイエンス」などのイベントを定期的で開催しています。(10ページ参照)



栗田支援学校による花壇整備



日新小学校わくわくフェスタ

## 4 今後の連携について

大森山動物園では、今後もこれまで進めてきた教育機関との協力関係を深めながら、新たな連携や、多様な連携の在り方を検討・実践していくことで、教育の場としての充実を図り、動物園のさらなる魅力アップにもつなげていきたいと思っています。



アート作品「こくばん帳」